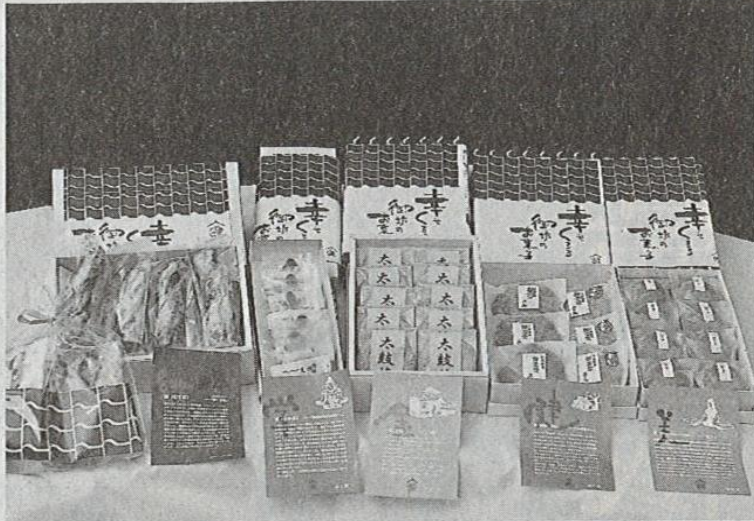


「五望」込め土産開発



御坊市の新たな土産物の菓子5品。それぞれに「美」や「健」など、「五望」が託されている＝御坊市

菓子に幸せ託して



御坊かいわい

御坊市に新たな土産物が誕生した。「幸せくるる御坊のお菓子」を共通のテーマに、御坊菓子工業組合加盟の5店がそれぞれ工夫を凝らして新しい土産物の菓

子を開発した。20日から販売予定だ。

市の地方創生事業「わがまち魅力発信事業」の一環。業務委託を受けた御坊商工会議所の依頼で組合加盟店が開発に取り組んだ。

「くるる」は御坊弁で「くれる」という意味。「幸せをくれるお菓子」5品には形や味に地元のこだわりが詰め込められている。

5品は、金山寺みそ入りのパイ菓子やクリームクッキー、ゴボウをあんに混ぜたまんじゅうなど。「御坊」と「五望」をかけ、「学」「健」「金」「美」「結」の五つの幸せをそれぞれに託した。宮子姫や日高別院のイチヨウなど、市内の観光名所などもモチーフになっている。

商工会議所は江戸時代からの町並みが残る同市御坊の「寺内町」の散策マップ

も作製。5軒の菓子店も地図に載せて、寺内町を散策しながら、菓子店を巡れるようにしたという。

商工会議所専務理事の塩路泰弘さん(55)は、「お菓子を通じて、御坊や歴史あふれる寺内町の魅力を知ってもらい、御坊にぜひ足を

運んでいただきたい」と話した。

菓子は、1箱千円から1500円、小袋は500円から600円。イベントなどでは、5店の詰め合わせも販売する予定だという。

(金居達朗)